

笑顔 TOPICS

能登半島地震 被災地支援 サブスク会員、大活躍！

能登半島地震に際し、9名のnuovoサブスク会員(平井道子、山本祐文、本田靖、竹前幸枝、小山等、安藤秀夫、佐藤直幸、宮本一敬、黒鳥智浩。敬称略)が初めて被災地支援に入りました。各陣を代表して4名の方に初めての被災地支援を振り返っていただきました。

第7陣 (1/27~29) 平井道子



珠洲市に入ると、1階が押し潰され屋根の瓦しか見えない家屋や、タンスの引出しがそのまま道に投げ出されている状況に遭遇。なんとも言葉に表せないほどの光景でした。

薪割りなど朝からの作業でしたが、半日はあっという間に過ぎ、昼からもタンクでの水汲みを行ったりしました。

いろいろな形で支援できると思いますので、サブスクの皆さんも自分のできる支援をお願いします!!

第12陣 (2/14~17) 小山 等



日置ハウスに水が開通した日やお湯を沸かせて普通に入浴できた日に立ち会えて、皆さんの様子を見られたことなど、肌で感じられたことは本当に勉強になりました。今後、自分の町で災害が起きたときに迅速に対応できるようにするにはどうしたらいいのか? これからも経験を重ねてネットワークを構築していきたいです。「自分が行っても何もできないから」と敬遠しないで、まずは一歩踏み出してみたいよと声を大にして言える自分になれたことが一番の収穫かなと思います。

第9陣 (2/1~7) 山本祐文



被害状況に愕然として、家屋保全ではしきりに「この方は大丈夫だったのか」を聞いてしまいました。日置ベースでは水の補給も大変で、水があることが当たり前の生活に慣れている身には、歯磨き、トイレ等の制約がストレスになってしまいました。そんな中、笑顔の湯で住民の方々からお礼の言葉をいただき、非常に嬉しく思いました。重機操作もやはりできないよりはできた方がツールの1つとして人力の何人分かを賄う事ができたので、今後もサブスクでスキルアップに努めたいと思います。

第16陣 (2/27~29) 黒鳥智浩



現地に近づくにつれて道路の隆起や崩落、ブルーシートで覆われた家屋などが多く見られるようになり、地震の凄まじさを痛感しました。水槽の引き上げ、家屋からの畳の運び出し、瓦礫の回収作業に携わらせていただきました。また、支援作業を終えその場を去る自分の中には「なんとかしてあげたい……」の言葉がずっと巡っていました。これからも自分の支援活動が誰かの笑顔に繋がるように、少しずつではありますが継続していきたいと思っています。

災害協定・連携先 (敬称略)

- ・石井食品株式会社 (非常食)
- ・株式会社AirX (ヘリコプター)
- ・有限会社ビビッド (電源車)
- ・POWERDRIVE R117 (ポート・船・キャンピングカー)
- ・株式会社e-nature (キャンピングカー)
- ・一般社団法人オフロードビークル協会 (バギー・モービル)
- ・真言宗豊山派仏教青年会(寺院ネットワーク)
- ・わらび野観光株式会社 (バス)
- ・株式会社カンパニーランド・ジャパン (トレーラーハウス)
- ・株式会社ラックス (エアードーム)
- ・株式会社アクティオ (重機・建機)
- ・株式会社アイエー (ソリ)
- ・モトローラ・ソリューションズ (無線・トランシーバー)
- ・株式会社Goo-light (映像・ドローン)
- ・中部観光株式会社 (バス)
- ・株式会社RSS 高喜屋 (ATVバギー)
- ・NEXCO 東日本新潟支社
- ・NEXCO 東日本関東支社
- ・NEXCO 東日本
- ・株式会社NEXCOエンジニアリング新潟
- ・中野市

- ・小布施町
- ・株式会社コケナワ (携帯トイレ)
- ・株式会社C-SOS (簡易トイレ)
- ・国際災害対策支援機構 (ヘリコプター)
- ・匠航空 (ヘリコプター)
- ・長野県社会福祉協議会
- ・小布施町社会福祉協議会
- ・辰野町社会福祉協議会
- ・茅野市社会福祉協議会
- ・長野県NPOセンター
- ・日本財団 (活動補助)
- ・DRT JAPAN (重機・技術系)
- ・OPEN JAPAN (重機・技術系)
- ・DEF災害エキスパートファーム (重機・技術系)
- ・KEEN JAPAN (シューズ)
- ・Patagonia (アパレル)
- ・株式会社信越車体 (車両整備)
- ・ジリリタ株式会社 (健康増進)
- ・株式会社サンコーレンタル (重機・建機)
- ・株式会社インス (アパレル)
- ・須坂市
- ・HDS K9 (捜索救助犬)
- ・日本特種ボディー株式会社(キャンピングカー)
- ・長野県
- ・長野県危機管理課

- ・災害時支援ネットワーク
- ・三葉機械リース株式会社 (重機・建機)
- ・読売光と愛の事業団 (活動補助)
- ・災害救援レスキューアunist (家屋修繕・技術系)
- ・赤い羽根共同募金 (活動補助)
- ・デンソー はあとふる基金 (活動補助)
- ・ヤンマーホールディングス株式会社 (重機・資機材)
- ・ヤンマー建機株式会社 (重機)
- ・日本レスキュー協会 (捜索救助犬)
- ・佐賀災害支援プラットフォーム (コーディネーター)
- ・災害NGO 結 (コーディネーター)
- ・山紀建設 (ゼネラルアドバイザー)
- ・特定非営利活動法人湘南バリアフリーアセンター (悪路対策マット)
- ・長野県警察本部機動隊
- ・株式会社中村商会 (資機材輸送)
- ・宗教学法遍照寺 (活動補助)
- ・株式会社ホンダワーク/ PLOW (資機材)
- ・KDDI エンジニアリング株式会社
- ・株式会社三和ボーリング (防災井戸)
- ・NTT 東日本長野支店 (防災啓発)
- ・株式会社KOUSSEI (資機材支援)
- ・コトヒラ工業株式会社 (バイオトイレ)
- ・災害NGO ラブ&アース (コーディネーター)

<支援金のおねがい>

日本笑顔プロジェクトの活動は、自主財源に加え、皆様からの支援金のもとで成り立っております。災害による緊急支援や復旧作業などに万全の体制で臨めますよう、ご支援の程、なにとぞよろしくお願い申し上げます。
日本笑顔プロジェクト 代表 林映寿

PayPay 銀行 (ペイペイ銀行)
支店名: ビジネス営業部
口座番号: 6366696
口座名: 一般財団法人日本笑顔プロジェクト

八十二銀行 (ハチジュウニギンコウ)
小布施 (オブセ) 支店 (252)
口座番号 普通: 242431
口座名 一般財団法人日本笑顔プロジェクト
※振込時に7桁の指定がある場合は、先頭部分に「0」を入力して、[0242431] としてください。
★八十二銀行の口座を変更いたしました。

発行 2024年3月30日
発行者 一般財団法人日本笑顔プロジェクト
代表 林映寿
〒381-0211 長野県上高井郡小布施町
雁田 676 浄光寺内
電話: 070-2023-5110
HP <https://egaonowa.net/>
制作 燕游舎



家族団楽の時間を襲った 能登半島地震



2024年1月1日16時10分、能登半島地震が発生しました。帰省して新年を迎えた楽しい家族団楽の時間を大地震が襲いました。

日本笑顔プロジェクト (以下、笑顔P) では、ただちに情報収集を開始。笑顔PのGA (ゼネラルアドバイザー) の山本俊太さん (以下、ヤマキさん) と情報を共有しながら、1月3日5時30分に代表の林映寿と副代表の春原圭太が重機1台、バギー1台を積み能登に向けて出発しました。七尾に入った瞬間から大渋滞が発生し、前を進まず……。

林は笑顔Pと災害協定を結んでいる富山県の中部観光様からの要請を受け、のと里山空港に取り残された方をバスで避難させるための先導ミッションに。空港に取り残された方は、無事バスに乗り金沢へ向かうことができました。

かほく市から一旦別行動となり、支援活動後に全員でなかまじまロマン峠への集合を目指しました。春原とヤマキさんは無事合流し、数時間後に林が先導するバス6台も合流。ここから全員でのと里山空港へ。道中は路面の陥没や亀裂 (クレバス) のため渋滞続きで、我々が能登空港に到着したのは22時。小布施を出発してから17時間が経過していました。

3名はのと里山空港で一泊し、翌朝珠洲市に向けて出発しました。珠洲市に向かう道も渋滞しており、4時間はどかかって到着。災害支援の際に笑顔Pがいつも連携しているDRT-JAPANの黒澤司さん (通称: 黒さん) と合流し、内浦街道の道路啓開を行いました。夕方には黒澤さん経由で連絡を受け、土砂崩れが起き孤立している大谷地区の土砂撤去を自衛隊と協力して夜通し行い、道路を開通。ヤマキさんの技術と自衛隊の連携プレーを間近でサポートすることができ、勉強になりました。

6日は黒澤さん経由の連絡により、神奈川県警や協定先の救助犬チームHDSK9と共に、倒壊した神社での行方不明者捜索へ。DRT-JAPAN 奈良の西岡宏さんとヤマキさんのオペレーションのもと、深夜まで捜索を行いました。

翌日、笑顔Pは一旦珠洲を離れ、体制作りに着手、1月・2月の講習会はすべて中止し、災害支援に集中することにしました。

1月10日以降、春原は黒澤さんやDEF TOKYOの鈴木暢さん (通称: トオルさん) が主体となって活動している技術系チームに入り、林と事務局長の小林温子を中心としたチームはレ

スキューアシストのサポートに入りました。春原チームは蛸島漁港にベースを構え重機支援を中心とした活動を、小林チームは日置ハウスにベースを構え入浴支援をスタートしました。日置ベースには笑顔CREWやサブスク会員も応援に入り、2月までで延べ40名を超えるメンバーが支援にあたっています。現在は倒壊家屋からの貴重品捜索、車両救出、家屋修繕など蛸島、日置と総力をあげて支援中です。

笑顔Pは今後も能登支援を継続していきます。次号でも能登半島地震について取り上げたいと思っています。

白馬村の土石流現場に緊急出動

2023年12月の長野県は、降雪の気配もなく異常なほどの温かさが続いていました。

暮れも押し迫った12月16日、恐れていた土石流災害が発生。場所は、本格的なスノーシーズンを迎えインバウンド客で賑わう長野県白馬村のみそら野地区です。

防災直後に詳細を把握するため、笑顔P代表の林が現場に向かいました。まだ沢からの水が流れ出ており、二次災害の恐れもあったため奥に進むことはできませんでした。

12月21日、災害NGOラブ&アースの橋之口みゆき代表がコーディネートを下し、ヒューマンシールド神戸の吉村誠司代表 (通称: 助さん)、DRT-JAPAN 長野の多賀賢司さん (通称: ケンさん)、TEAM SHIRO、長野県社会福祉協議会のメンバーと白馬村社協に集合。ボランティアセンターが開設されたタイミングで笑顔Pも重機を投入し、土砂撤去の支援にあたりました。

現場には副代表の春原、笑顔CREWの那須野俊清、丹生亨も参加。当日の白馬は大雪で



20cmほどの積雪があり、まずは除雪から開始しました。雪の下には20cmほど堆積した土砂が一面に残っていたため、重機を使って元の高さまで均等に土砂を除去していきました。

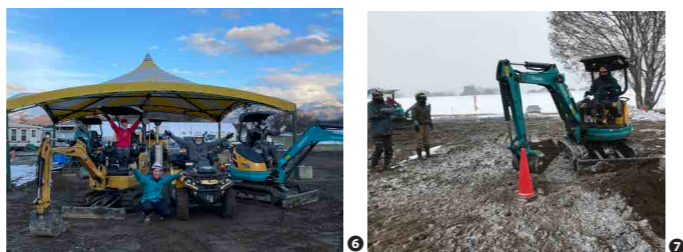
ペンションが忙しくなる12月にまさかの土石流災害で駐車場が泥だらけに。車を停める場所がなく住民の方々は不安そうでしたが、連携プレーでなんと1日で土砂を取ることができました。

上流部にはまだ土砂が堆積していますが、白馬は雪に覆われるため、ボランティアセンターも雪解け後の4月以降に再開されます。スケジュールを調整しつつ、再び白馬支援に入ります。

日本笑顔プロジェクト 活動の記録 (2023年12月—2024年2月)

2023 12月

- 2日 プチ体験 16名参加①
- 2日・3日 成田重機運動会&忘年会
- 2日・3日 第8回不整地運搬重機講習、2名受講
- 7日 長野県社会福祉協議会、市町村社協視察
- 8日 コトヒラ工業、小松製作所視察②
- 9日 キッズDoコラボイベント③
第97回重機講習会実施、8名受講(累計1611名)
川島第12回重機講習実施、2名受講(累計1613名)
- 10日 第22回解体重機講習実施、4名受講
- 15日 成田第48回午後解体重機講習、3名受講
- 16日 第4回チェンソースキルアップ講習、3名受講④
- 17日 中央大学第1回重機講習、18名受講(累計1631名)⑤
第5回チェンソースキルアップ講習、3名受講
成田第96回重機講習、2名受講(累計1633名)
- 23日 第98回重機講習、3名受講 (累計1636名)⑥
成田第5回不整地運搬重機講習、3名受講
キッズアカデミー
- 24日 成田第97回重機講習、1名受講(累計1637名)
- 27日 成田第SP18回重機講習、3名受講(累計1640名)



2024 1月

- 1日 能登半島地震発災
- 3日～6日 第1陣能登半島地震災害支援 3名
- 9日～12日 第2陣能登半島地震災害支援 3名
- 12日～15日 第3陣能登半島地震災害支援 入浴支援(笑顔の湯)開始
- 13日 第99回重機講習、3名受講⑦
- 13日 川島第14回重機講習、2名受講 (累計1642名)
- 16日～19日 第4陣能登半島地震災害支援 3名⑧
- 19日 サンデーライブ取材

HEROs 参上!

アスリートによる社会貢献活動の実践「HEROs ACTION」では、災害復興支援や難病児支援、少年院更生支援など、日本全国の様々な社会課題の現場においてアスリートたちが実際に社会貢献活動を行います。社会貢献を行うアスリートを増やすため、また社会課題やその解決に向けたスポーツ・アスリートの力を知るための講義型プログラムなどを実施しています。学びの場を経て、アスリートたちが新たなアクションを起こしています。そのプログラムの一つとして3月10日・11日重機講習をおこなうこととなり、元サッカー日本代表の中田英寿さんと元ラグビー日本代表の五郎丸歩さんから多くのアスリートの皆さんが参加してくださいました。



修了証を受け取る五郎丸歩さん



重機操縦を行う中田英寿さん

- 19日～20日 第5陣能登半島地震災害支援 2名⑨
- 20日 成田第101回重機講習、3名受講 (累計1645名)
- 20日・21日 第6陣能登半島地震災害支援 3名
- 21日 成田第31回ペーパードライバー重機講習、2名受講
- 26日 上田市市長来訪 感謝状贈呈式⑩
成田第SP19回重機講習、7名受講(累計1652名)
- 27日 キッズアカデミー
成田第6回不整地運搬重機講習、1名受講
- 27日～29日 第7陣能登半島地震災害支援 4名
- 29日～31日 第8陣能登半島地震災害支援 2名⑪

2月

- 1日～7日 第9陣能登地震支援活動 3名
- 3日 成田第102回重機講習、2名受講 (累計1654名)
- 4日 成田第103回重機講習、3名受講 (累計1657名)
- 7日～10日 第10陣能登地震支援活動 3名 スギヨ本社訪問⑫
- 9日 成田第SP20回解体重機講習、4名受講
- 9日～11日 第11陣能登半島地震支援 4名
- 10日 能登町にて炊き出し 焼きリンゴ提供⑬
- 11日 川島第16回重機講習、10名受講(累計1667名)
- 14日～17日 第12陣能登地震支援活動 5名⑭
- 16日 成田第SP21回重機講習、8名受講(累計1675名)
- 17日 川島第2回午後解体重機講習、1名受講
- 18日 テレビ東京「モヤモヤさまぁ〜ず2」収録⑮
川島第17回重機講習、9名受講(累計1684名)
- 20日～22日 第13陣能登地震支援活動 3名
- 22日 NEXCO東日本雪上バギー講習⑯
- 22日～25日 第14陣能登地震支援活動 2名⑰
- 24日～26日 第15陣能登地震支援活動 3名
- 25日 成田第32回ペーパードライバー重機講習、11名受講
- 26日 成田第49回解体重機講習、2名受講
成田第50回解体重機講習、4名受講
- 27日 成田第104回重機講習、4名受講(累計1688名)
- 27日～29日 第16陣能登地震支援活動 3名



避難者に寄り添い心から笑顔に!

能登半島支援第2陣から届いた現地ニーズは、寒い避難所生活で「ぼかぼか足湯」の提供ができたらとのこと。笑顔Pでは昨年夏頃から効率良くお湯を沸かし、採暖や調理もできる装置としてドラム缶風呂の制作に着手しており、急遽被災地へ投入することになりました。足湯に浸かった避難者の皆さんから、「今まで夜中に目が覚めていたのに、足湯に入ったら朝までぐっすり寝ることができました」と嬉しい感想が。

さらに避難所近くの山からの湧き水を発見! 豊富に出る水を確認し、これならお風呂の提供もできると「笑顔の湯」を決行。2週間ぶりの入浴。窓越しに聞こえてくる「あったか〜!」「幸せ〜!」「生き返った〜!」と、嬉しい言葉をたくさん聞くことができました。

現在は、ドラム缶風呂とバリアフリーバイオトイレを組み合わせた快適テナハウスを製造中です。nuovo パークにまもなく完成します。

